



夢に生かさん

3年生用

Takeokadai High School
進路指導部 第5号
発行日 H30. 10. 11

センター試験志願票289名出願！

～センター試験まであと100日～



1月19日(土)・20日(日)に実施されるセンター試験まで本日**10月11日(木)**でちょうど**100日**前になりました。「彼を知り己を知れば百戦して殆(あや)うからず」と言います。ここで今一度、「彼」＝「センター試験」とは何者かを知り、「己」＝「自分自身の特徴」についてきちんと認識しておきましょう。

センター試験の問題は、各教科・科目とも**平均点6割**を目安に教科の**基礎・基本**を中心に作成されます。各大学が独自で作成する個別試験問題との大きな違いはここです。教科書レベルの決められた枠の中でしか問題が作成されませんから、科目や分野によっては非常に**的の絞りやすい試験**だと言えます。難易度の高さが課題ではなく、**時間内に早く正確に解き、時間内に自分の実力を出し切る**ことが多くの受験生の課題になります。日々の授業や問題演習、模擬試験を大切に、センター試験の目標点数をクリアできるよう、焦らず、でも確実に力を蓄えていきましょう。

◆センター試験本番までの流れ



- 10月下旬 学校経由で「確認はがき(出願受理通知)」が届く
↓
氏名・住所・履修課程・登録(受験)教科名・成績開示の有無など、登録内容を確認
↓
間違いがあった場合は「登録教科等訂正届」に訂正内容を記入し、学校経由で返送
※「センター試験の受験案内」P26～で確認すること。
- 12月中旬 学校経由で「受験票」「写真票」「成績請求票」「受験上の注意」が届く
↓
受験まで紛失しないように保管
※「成績請求票」は国公立大学の個別試験や国公立大学センター試験を課す推薦入試、私立大学や短期大学のセンター利用試験の出願に必要。
※「受験票」は個別試験や大学の入学手続きにも必要。

◆センター試験までの学習プラン

●10月 学習のリズムを定着させる

- ◇目標は「平日5時間以上、休日10時間以上、週合計40時間以上」
- ◇一日のやるべきこと、一週間のやるべきことの明確化と実践
- ◇理科、地歴公民の対策を本格スタート(まず授業中心)
- ◇個別試験科目の傾向を研究(記述型を意識した学習スタイル)

●11月 科目ごとに理解を深める

- ◇実践的な**問題演習**(時間割配分のスキルを身に付ける！)
- ◇苦手科目の**弱点補強**
- ◇模試の**復習**(間違った箇所を丹念にやり直す！)

●12月中旬 復習モードに切り替える

- ◇新しいものには手を出さず、**基礎・基本の復習重視**

●1月 センター試験の直前対策をする

- ◇これまで書き込んできた自分のノートを見直し、**最終確認**
- ◇直前演習を通して、**弱点分野の確認と補強**

学習実態調査より

週合計	34:36
平日	4:17
土曜	7:47
日曜	5:22

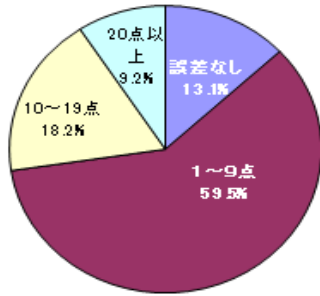
受験生らしい学習時間になってきました！
でも、休日は模試以外の時間にまだまだやれるかも…！？



◆今後の留意点

●自己採点はとにかく正確に。慎重に。約4人に1人は10点以上の誤差。(ベネッセ High school on line より)

左のグラフは過去の11月の進研マーク模試での自己採点の誤差を表したものです。なんと約4人に1人は10点以上の自己採点ミスをしていることがわかります。もしセンター試験の自己採点でこれほど大きな誤差があれば、出願ミスにつながる可能性があります。「正確な自己採点」のために、以下のポイントをしっかりと守って、日頃の模試でも慎重に解答、自己採点しましょう。



- 受験番号や名前などの記入に誤りがないかどうか確認。
- マークの「ダブリ」や記入欄の「ズレ」の確認。
- 自分の解答を問題冊子に必ず控えること。また、訂正した場合、問題冊子の訂正も忘れない。
- 訂正の際は完全に消しゴムで消す。
- 問題冊子の控えとマークシートの解答とが一致しているかを最後に見直す。

※自己採点の間違いは、マークミスだけでなく自己採点時にも起こるので要注意！！

●受験勉強を支えるのは、健全な身体と心

これからの季節は体調を崩さないように、健康管理に十分注意することが重要です。生活習慣・学習環境を改善して、受験後半戦そして試験本番に備えましょう。

- ①センター試験開始は9:30。夜型は徐々に朝方に。
- ②食事をしっかりとる。
- ③受験勉強中に迎える年末・年始の生活リズムを崩さない。
- ④携帯電話使用の在り方を改善する。勉強部屋の整理整頓をする。

学習実態調査より
「携帯利用時間30分以上」
=45.8%

●残りのテストについて、再度確認をしましょう。

10/13 (土)	進研記述模試	12/ 1 (土)・ 2 (日)	全統センタープレテスト
10/21 (日)	各大学プレテスト	12/10 (月)~13 (木)	センター試験直前演習Ⅰ
10/27 (土)	全統記述模試	12/22 (土)・ 23 (日)	北予備ファイナル
10/28 (日)	鹿大プレテスト	12/27 (木)・ 28 (金)	センター試験直前演習Ⅱ
11/ 3 (土)・ 4 (日)	進研マーク模試	1/ 5 (土)・ 6 (日)	センター試験直前演習Ⅲ
11/26 (月)~29 (木)	2学期期末考査	1/12 (土)・ 13 (日)	センター試験直前演習Ⅳ

◆AO入試・推薦入試受験について~志望理由書の作成・面接・小論文の準備は早めに~

すでにAO入試・推薦入試も本格的にスタートしています。受験のポイントをまとめてみました。

(1) 受験先の学校が知りたいこと = 「あなたの『過去』『現在』そして『未来』」

- ① 過去 あなたがこれまで頑張ってきたことは何ですか？
- ② 現在 今、あなたはなぜ他の学校ではなくこの学校を希望するのですか？
なぜこの学部・学科なのですか？
- ③ 未来 あなたの将来の夢は何ですか？目標は何ですか？
あなたの夢は社会とどう繋がっていますか？



これまでの自分、そして、将来の社会や自分のことに思いを巡らし、「将来何をしたいか?」「どのように生きたいのか?」「そのために今何をしようとしているのか?」「何が必要なのか?」がきちんと答えられればOK。

(2) 「志望理由書」や「面接」でうまく伝えるために

- ① 相手に「地図」を渡す これから伝える内容の大筋(=「地図」)を最初であらかじめ相手に渡す。
- ② 「幹」と「枝」 話題の「幹」になる内容と「枝」になる内容を意識する。
- ③ 「目」に浮かぶように これまでの自分や受験先の学校で学んでいる自分、そしてこれからの自分の姿が「目」に浮かぶように、具体例や数字をうまく利用する。